

行った主な活動

剪定

12月に引き続き、梨の剪定作業を継続して行った。毎日繰り返し作業する中で、剪定の意図や枝の流れをより深く理解できるようになり、自分の中でも「こう切るべきだ」という判断がスムーズにできる場面が増えてきた。進めていたエリアも折り返しを迎え、作業の終わりが見えてきた。



誘引

剪定と並行して、誘引作業も継続して行った。剪定後の枝をどのように配置するかを考えながら、来年・再来年の枝の成長や収穫を見据えて作業した。枝の角度やバランスなど、細かい部分にも目が向くようになってきた。これまで以上に全体像を意識して手を動かせるようになったと感じた。



活動を行った感想など

作業の折り返し地点に入ったことで、日々の積み重ねが少しずつ形になってきた。作業スピードと判断の正確さが以前より上がってきた実感があり、毎日の変化が励みになっている。

作業に慣れてきた分、丁寧さが欠けないよう意識を保つことが必要だと感じる場面もあった。手を動かしつつも「考える」ことを忘れないようにしたい。

今後の目標など

今後も引き続き、作業精度を高めながら、スピードと丁寧さのバランスを意識していきたい。

